

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第21週の発生動向

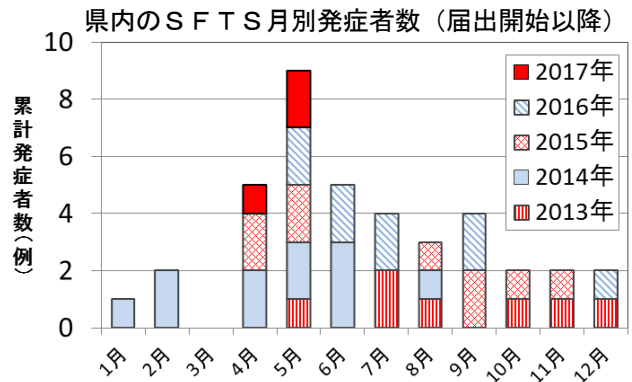
### トピックス

#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が延岡及び日向保健所から1例ずつ報告があった。県内での報告は今年2例目と3例目で、累計39例(平成25年3月届出開始以降)である。患者は70歳代と90歳代の女性で、発症は5月中旬及び下旬である。いずれもダニの刺し口は無く、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数 (届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	11	12	10	2



### 全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例。5類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	-
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	70歳代	女	-	発熱、筋肉痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感 血小板減少、白血球減少
		日向	90歳代	女	-	発熱、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、 血小板減少、白血球減少
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	60歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態、 痙性対麻痺、筋強剛

### 定点把握の対象となる5類感染症

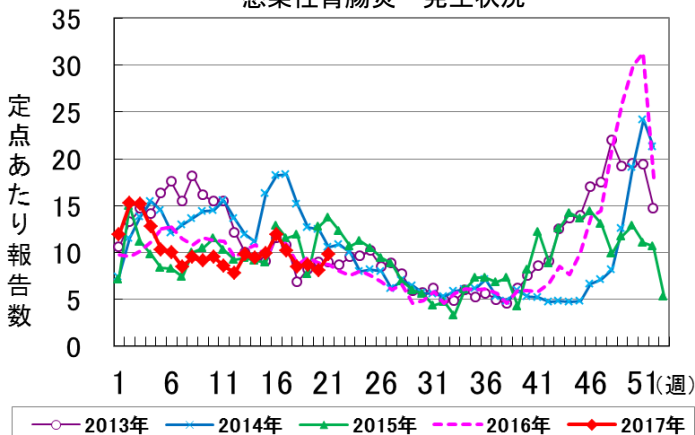
・定点医療機関からの報告総数は791人(定点当たり24.3)で、前週比114%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

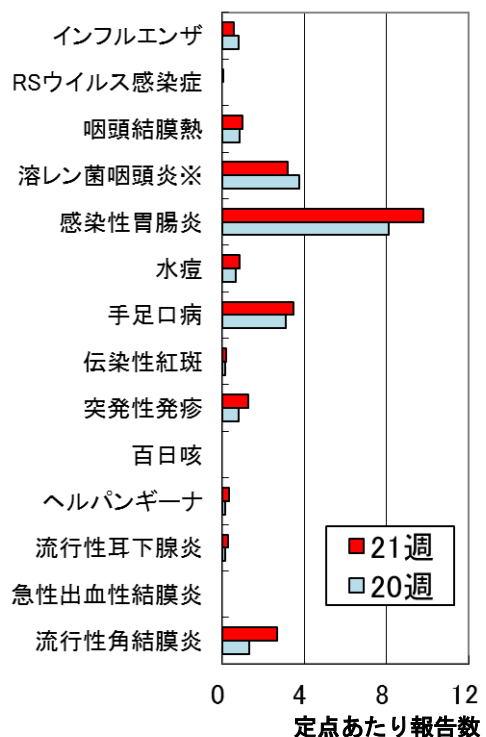
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は353人(9.8)で、前週比121%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(10.9)の約0.9倍である。日南(20.0)、小林(15.7)、日向(11.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎 発生状況



《前週との比較》

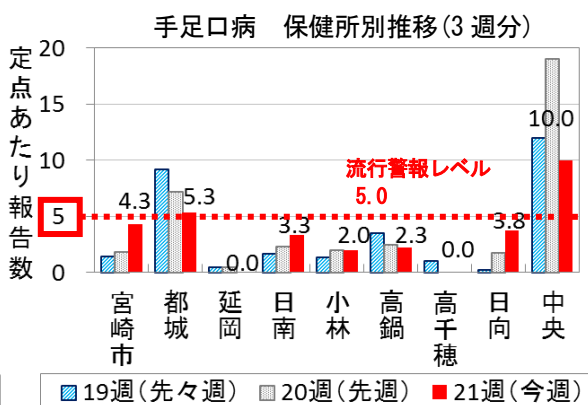
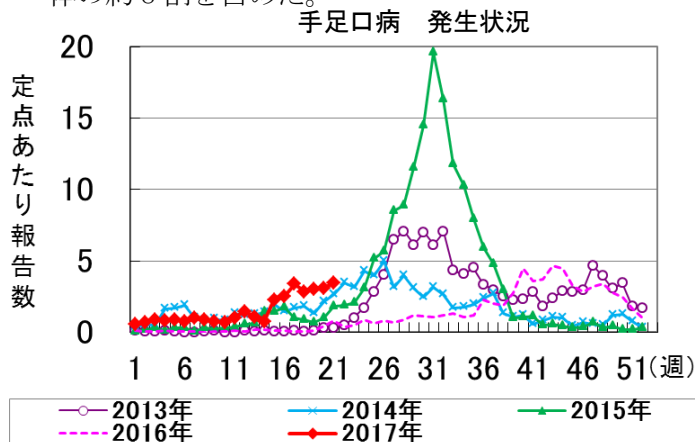


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

報告数は125人(3.5)で、前週比112%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(1.1)の約3.2倍である。中央(10.0)、都城(5.3)、宮崎市(4.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス):延岡(2例)、宮崎市、日南(各1例)保健所から報告があり、0～4歳が3例、5～9歳が1例であった。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(5.3)
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(3.7)、感染性胃腸炎(20.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(14.0)
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)、手足口病(10.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 20 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	359 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	34 例
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	7 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	10 例
	レジオネラ症	16 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	13 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	25 例	ジアルジア症	3 例
	侵襲性インフルエンザウイルス感染症	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	74 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	96 例	破傷風	2 例
	風しん	1 例	麻しん	4 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘である。

RSウイルス感染症の報告数は737人(0.23)で前週比115%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.11)の約2.1倍である。沖縄県(2.9)、北海道(0.89)、香川県(0.61)からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第21週(5月22日～5月28日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	47	34	3	7		18	3	2			1
	定点あたり	0.80	0.58	0.19	0.70	0.00	3.60	0.60	0.33	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	31	36	7	9	6	11		1		1	1
	定点あたり	0.86	1.00	0.70	1.50	1.50	3.67	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	136	115	44	10	9	6	3	9	14	10	10
	定点あたり	3.78	3.19	4.40	1.67	2.25	2.00	1.00	2.25	14.00	2.50	10.00
感染性胃腸炎	報告数	292	353	83	57	34	60	47	14	5	47	6
	定点あたり	8.11	9.81	8.30	9.50	8.50	20.00	15.67	3.50	5.00	11.75	6.00
水痘	報告数	24	31	2	3	6	9	5	2		4	
	定点あたり	0.67	0.86	0.20	0.50	1.50	3.00	1.67	0.50	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	112	125	43	32		10	6	9		15	10
	定点あたり	3.11	3.47	4.30	5.33	0.00	3.33	2.00	2.25	0.00	3.75	10.00
伝染性紅斑	報告数	5	7	2	1	3	1					
	定点あたり	0.14	0.19	0.20	0.17	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	46	12	13	4	1	8	3		5	
	定点あたり	0.83	1.28	1.20	2.17	1.00	0.33	2.67	0.75	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	13	11					2			
	定点あたり	0.17	0.36	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	10		3	1	2	1	2		1	
	定点あたり	0.14	0.28	0.00	0.50	0.25	0.67	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	16	15		1						
	定点あたり	1.33	2.67	5.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	8	4	1		2	1					
	定点あたり	1.14	0.57	1.00	0.00	2.00	1.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～21週)

2類感染症	結核	85例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	3例(2)	つつが虫病	6例
	レジオネラ症	3例				
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	5例	破傷風	2例	麻疹	1例

( )内は今週届出分、再掲